

問2 「健康・福祉のまちづくり」について

【現状評価】

1. 地域の中で福祉情報を得たり、相談することができる
2. すべての人にやさしく、暮らしやすい地域である
3. 互いにささえあい、助け合う人間関係が地域に築かれている
4. 子育て情報を得たり、相談することができる
5. 安心して子どもを預けられる環境がある
6. 子どものしつけや虐待防止に向けた取組みが整っている
7. 高齢者への介護サービスや施設が充実している
8. 障害者(児)への福祉サービスが充実している
9. 健康に対する情報や取組みが充実している
10. 専門医療や夜間・救急医療をいつでも受けることができる

【満足度評価】

- 「健康・福祉のまちづくり」に対する満足度

【現状評価と満足度の関係性】

- 重回帰分析結果

《重要》 結果を見る前に確認してください

P12とP13-14の平均値の違いについて

P12に示される平均値とP13-14に示される平均値の値は若干異なります。これは、P12に示される数値が各項目に回答した回答者全員の平均値であるのに対して、P13-14に示される数値は重回帰分析の実施にあたり、**問2**の質問項目全てに回答した回答者の平均値を示しているためです。

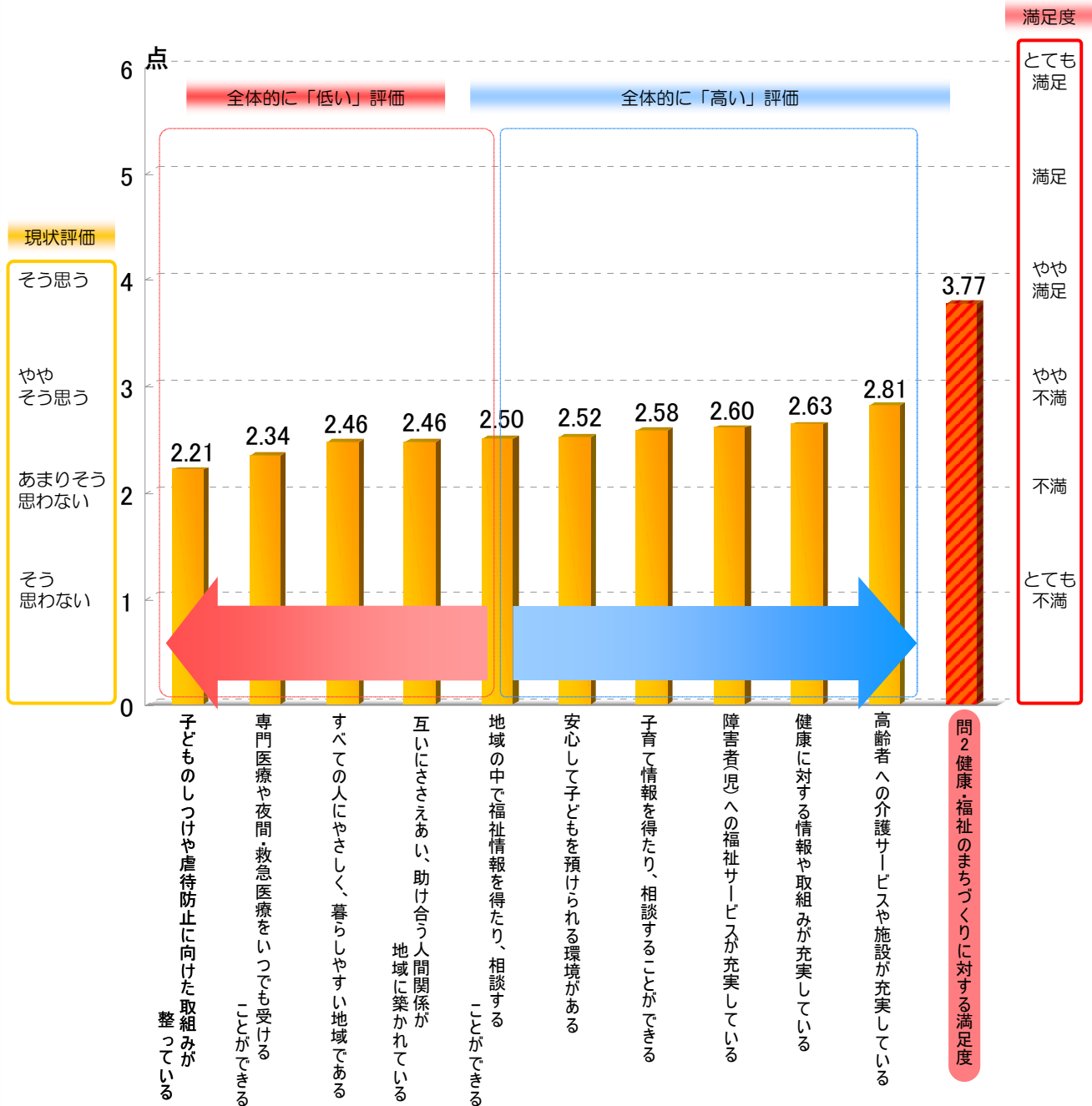
P13-14の寄与率と有意確率・検定結果について

「寄与率」とは重回帰分析によって示された「現状評価が満足度評価に与える影響力の大きさ」です。「有意確率」とは、「影響(寄与)が偶然によるものかどうか」を統計的(確率的)に検定する基準です。統計的検定の仕組みは省きますが、社会調査では90%以上を統計的に信頼できると判断することが多く、検定結果では○で示してあります。なお100%は四捨五入の値であり、限りなく100%に近いことを意味しますが、影響の絶対性を保証するものではありません。また、各項目の寄与率の合計は通常100%にならず、多くの調査では50～60%となります。これは、本調査の項目以外に満足度に影響を与えるような無数のその他要因があるためです。



問2. 「健康・福祉のまちづくり」に関する評価の状況

塩尻市の「健康・福祉のまちづくり」について様々な場面の現状と全体的な満足度を評価した。2.5点を基準に、「低い」評価と「高い」評価に分けて結果の分析をおこなった。



「健康・福祉のまちづくり」に対する住民の評価（要約）

- 高齢者福祉や障害児・児童福祉については中間的な評価よりやや良い。
- 高齢者福祉については、他の項目よりも良い評価である。
- 専門医療や虐待防止など近年重視される分野における評価がやや低い。
- 総合的な判断として塩尻市の「健康・福祉のまちづくり」は「やや満足」に近い評価。

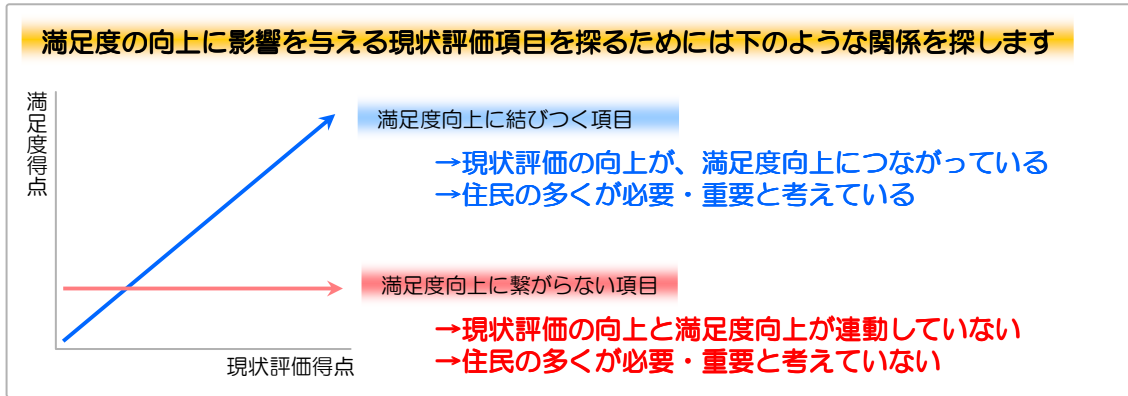
問2. 「健康・福祉のまちづくり」において満足度を高める要因分析①

塩尻市において、「健康・福祉のまちづくり」に住民が満足するためにはどのようなことが求められているのかを **現状評価** と **満足度評価** の結果から分析をおこなった。



どのような **現状評価** 項目が改善・充実する(評価が上がる)と「健康・福祉のまちづくり」に対する **満足度評価** が向上するのかを「重回帰分析」と呼ばれる統計分析で検討し、今後の取組みの **重要度評価** をおこなった。

● 満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握 (重回帰分析のしくみとなる相関について)



手続き①：重回帰分析の結果(寄与率順)

※寄与率・有意確率・検定結果についてはP11参照

評価項目	平均値	寄与率	有意確率	検定結果
(9)健康に対する情報や取組みが充実している	2.57	14.96%	99.62%	○
(4)子育て情報を得たり、相談することができる	2.53	11.66%	97.20%	○
(2)すべての人にやさしく、暮らしやすい地域である	2.46	11.36%	94.88%	○
(10)専門医療や夜間・救急医療をいつでも受けることができる	2.28	10.88%	99.23%	○
(5)安心して子どもを預けられる環境がある	2.44	5.80%	73.43%	-
(7)高齢者への介護サービスや施設が充実している	2.74	5.02%	76.18%	-
(3)互いにささえあい、助け合う人間関係が地域に築かれている	2.39	1.79%	34.75%	-
(8)障害者(児)への福祉サービスが充実している	2.54	1.58%	27.59%	-
(1)地域の中で福祉情報を得たり、相談することができる	2.52	1.04%	19.03%	-
(6)子どものしつけや虐待防止に向けた取組みが整っている	2.30	-1.79%	28.42%	-

※ 上表の平均値が前頁得点とやや値が異なるのは、重回帰分析をおこなう上で問2の項目全てに回答している必要があり、アンケート回答に漏れがあった回答者を除いて再分析したため



「健康・福祉のまちづくり」に対して満足を感じるためには・・・

- 健康に対する情報や取組みが充実している
- 子育て情報を得たり、相談することができる
- すべての人にやさしく、暮らしやすい地域である
- 専門医療や夜間・救急医療をいつでも受けることができる

満足度向上に影響(寄与)する項目

の4つの現状評価項目に関して改善や充実が必要である可能性が示された

重要度評価

問2. 「健康・福祉のまちづくり」において満足度を高める要因分析②

満足度評価 に影響を与える 現状評価 のうち、現在「低い」評価がされている項目と現在「高い」と評価されている項目を把握し、分野としての 重要度評価 をおこなった。

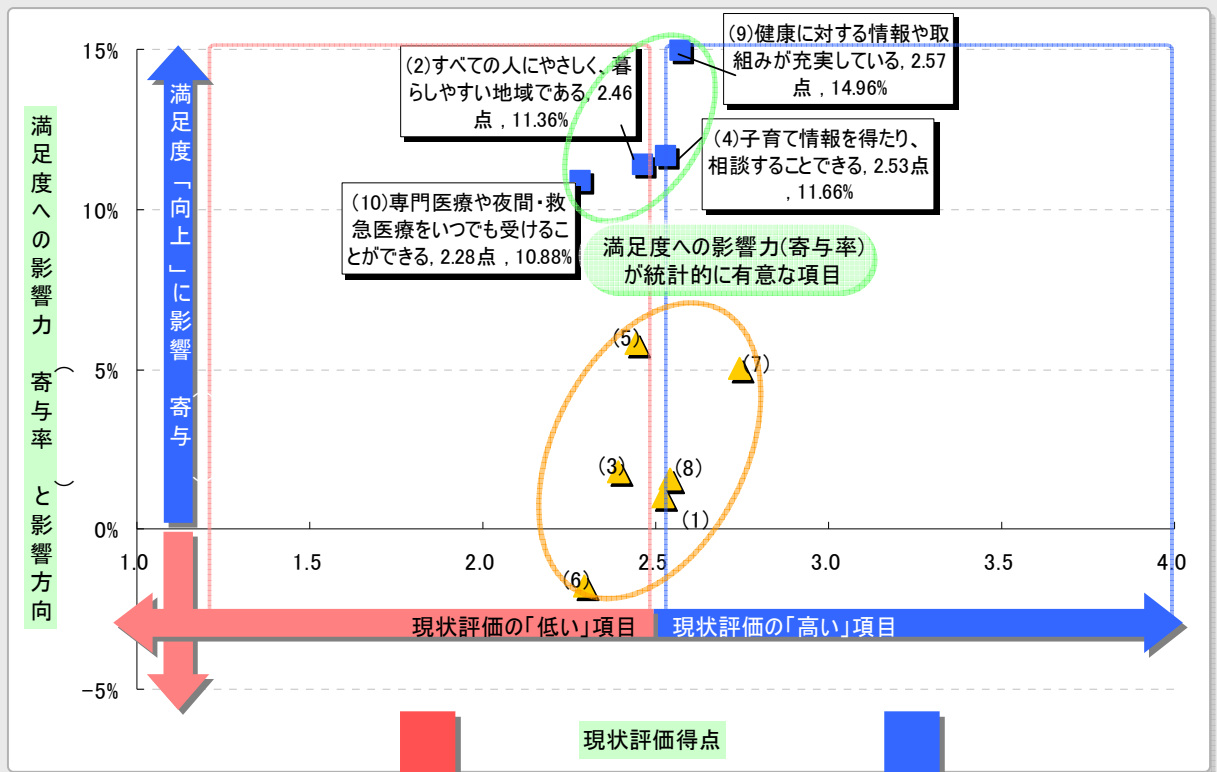
●満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握（重要度把握のしくみ）

重要度の高い現状評価項目を探るには下のマトリクスを参考に結果を見ます

	現状評価【低い】	現状評価【高い】
満足度への影響力【大】	現状の大幅な改善・充実が早急に必要	現状を基準にさらに満足度向上を目指す
満足度への影響力【小】	現状評価の向上が必要	現状維持

手続き②：重要度分析の結果

統計的に影響力が無いと判断された項目の項目名は前頁の評価項目番号を参照



すべての人にやさしく、暮らしやすい地域の実現や医療体制の充実は現状評価はやや低く評価されているが、満足度への影響力が大きい項目である。現状を早急かつ抜本的に改善する必要性の高い分野である。

健康に対する取り組みや子育て環境の充実は現状の取り組みもよく、満足度向上への影響力が大きい項目である。今後も継続的に更なる充実のために施策を検討する必要性の高い分野である。